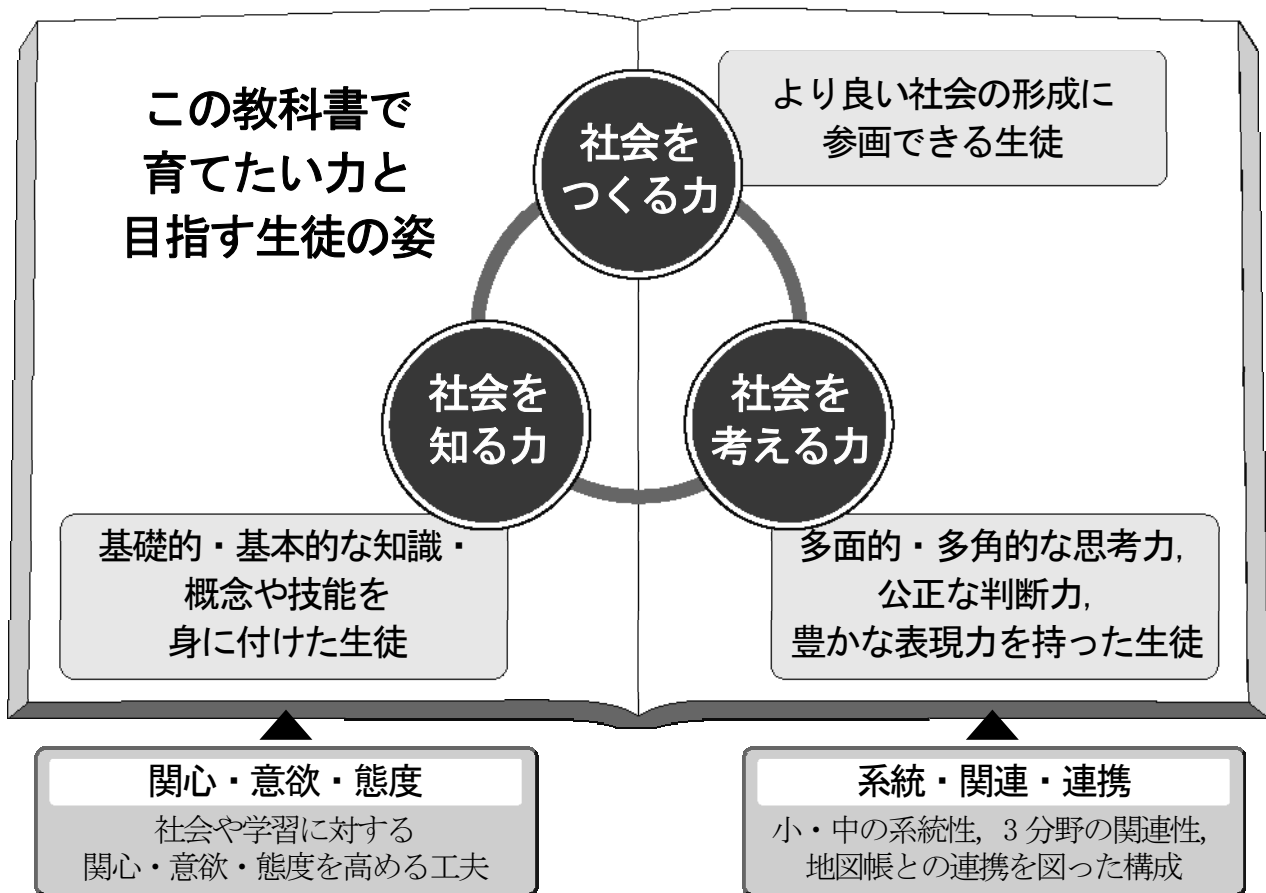


編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-92	中学校	社会	社会（公民的分野）	第 3 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	公民 929	新編 新しい社会 公民		

1. 編修の趣旨及び留意点



1. 教育基本法に定められた教育の目的である、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成に資するために、家庭や学校、地域社会の構成員、国家・社会の形成者としての資質を備え、我が国の伝統と文化を重んじ、創造性豊かに社会を構築していく、心豊かな生徒の育成を目指し、以下の点に留意しました。
 - ①社会に対する関心を高め、社会の在りようや課題を正しく認識するために、社会科の基礎的・基本的な知識や概念、技能を確実に習得し、「確かな学力」を身に付けられるように配慮しました。
 - ②我が国や世界が抱える諸課題について考察し、解決の方法を考える力を育成するために、多面的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けられるように配慮しました。
 - ③グローバル化や情報化の進展など、急速に変化する現代社会に対応し、より良い国家や社会を構築する力を育成するために、主体的に社会に参画する意識や態度を養えるように配慮しました。
2. 小学校第3学年から中学校第3学年までの7年間で学習する「社会科」の位置付けと、地理・歴史・公民3分野の学習を総合した中学校の「社会科」の特性を重視し、小学校社会科との系統性を高め、中学校社会科3分野の関連を図り、併せて地図帳と連携した学習を展開することで、教育基本法に定められた教育の目標が達成できるように配慮しました。

2. 編修の基本方針

■ 編集方針①…【社会を知る】 基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

- ・中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛り込みました。平易な本文記述を心がけ、図表や写真等を通じて視覚的にも理解できるように工夫し、特に重要な事項や生徒がつまづきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、定着を確実にするように配慮しました。
- ・多様な技能や社会的な見方・考え方を身に付けられるように、資料の読み取り方や話し合いの仕方、調べ学習を行う際の手法を豊富に紹介し、公民学習や社会生活に必要な基礎的技能を習得できるように配慮しました。

■ 編集方針②…【社会を考える】 多面的・多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を育てる

- ・本文の記述を補完する写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、資料を読み取る視点を適切に示すことで、読み取りや解釈を通して、思考力や判断力を身に付けられるように配慮しました。
- ・見開きごとに短時間で取り組める言語活動を設けたり、各単元の最後にその単元のまとめの言語活動を設けたりすることで、思考・判断した内容を、適切に表現する力が身に付けられるように配慮しました。

■ 編集方針③…【社会をつくる】 より良い社会の形成に主体的に参画する力を育てる

- ・領土をめぐる問題や地球環境問題など、我が国や国際社会が抱える諸課題について、現状と解決のための取り組みを取り上げることで、解決のためにできることを考えられるように配慮しました。
- ・中学生が社会参画をしている写真やインタビューコラムを掲載したり、地域の課題の解決や持続可能な社会の実現について考える活動を掲載したりすることで、社会参画への関心を高めるとともに、習得した知識・概念や技能、思考力・判断力・表現力を活用して、積極的に社会参画をしていく意識と態度を養えるように配慮しました。

■ 編集方針④…【関心・意欲・態度】 社会や学習に対する関心・意欲・態度を高める工夫

- ・教科書の導入となる見返しや第1章には写真やイラストを豊富に掲載し、各単元の導入や「チャレンジ」などでは生徒が主体的に活動する場面を設けることで、学習への関心や意欲を高められるようにしました。
- ・中学生が実際に活動している場面などを掲載したり、日常生活に関連する身近なトピックを取り上げたりすることで、自分の生活する社会への関心や、より良い社会の形成に参画する意欲や態度を高められるようにしました。

■ 編集方針⑤…【系統・関連・連携】 小・中の系統性、3分野の関連、地図帳との連携を重視する

- ・教科書の導入や各単元の学習の最初に、小学校社会科の学習事項や小学校社会科・地理的分野・歴史的分野の教科書に掲載された写真を位置付けることで、小・中、3分野の学習をスムーズに接続できるように配慮しました。
- ・地理的分野と歴史的分野の学習の上に公民的分野の学習を位置付けることで、中学校社会科の教科としての目標を達成するために、「環境・エネルギー」「防災・安全」「伝統文化・宗教」「人権・平和」の四つのテーマで、一つの社会的な課題や事象について、3分野それぞれの視点から考察する深化教材やコラムなどを掲載しました。

● 3分野の関連で扱った教材の例

テーマ/教材		地理的分野	歴史的分野	公民的分野
環境・エネルギー	エネルギー	さまざまな発電方法の特徴と課題 ▶170-171 ページ	人類の歴史とエネルギー ▶272-273 ページ	日本のエネルギー政策とこれから ▶182-183 ページ
	公害と克服	工業化・都市化にともなう地域への影響 ▶186 ページ	現代の公害問題とその克服 ▶268-269 ページ	公害のない社会へ ▶160-161 ページ
伝統文化・宗教	イスラム教	イスラム教と人々の暮らし ▶41 ページ	歴史の中のイスラム文化 ▶136-137 ページ	パレスチナ問題と中東和平 ▶190-191 ページ
	伝統的工芸品(南部鉄器)	生まれ変わる南部鉄器 ▶247 ページ	南部鉄器のおこり ▶121 ページ	世界で活躍する日本の中小企業 ▶129 ページ
防災・安全	震災と防災(東日本大震災)	震災と防災・減災への取り組み ▶154-155 ページ	歴史の中の大震災 ▶270-271 ページ	東日本大震災からの復興と防災 ▶112-113 ページ
	都市の安全(東京)	集中豪雨から都市を守る地下調節池 ▶229 ページ	江戸の火消し ▶125 ページ	社会の安全と人権 ▶65 ページ
人権・平和	アイヌ民族	アイヌの人たちと多文化共生 ▶262 ページ	北海道とアイヌ民族の歴史 ▶234-235 ページ	アイヌ民族と先住民族の権利 ▶66-67 ページ
	沖縄と平和	沖縄の土地利用 ▶185 ページ	戦争を記憶し、平和を発信する沖縄 ▶263 ページ	沖縄と基地 ▶43 ページ

- ・同一の写真・グラフ・地図を3分野共通で掲載し、各分野の視点で考察する活動を設けることで、地理・歴史・公民3分野の学習内容の関連を図り、一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てられるように配慮しました。
- ・地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の学習内容においても、教科用図書地図との連携を図ることで、学習内容を地理的に把握し、理解を深められるように配慮しました。

3. 対照表

■ 教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

各単元に共通する内容		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
平易な文章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を平易に記述しました（第1号）。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容を補充する「公民にアクセス」を設け、関連した知識を確実に習得できるようにしました（第1号）。 <p>→129 ページ</p>	 <p>15, 43, 55, 83, 105, 129, 135, 177, 185 ページ など全体で 50 か所</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容に関連する活動を「公民にチャレンジ」で取り上げ、学習内容を確実に理解させ、話し合い等を通じて多様な意見に触れながら価値判断を行えるようにしました（第1号・第2号）。 <p>163 ページ</p>	 <p>59, 63, 77, 83, 137, 153, 157, 179 ページ など全体で 20 か所</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容に関する「インタビューコラム」を掲載し、学習内容への理解を深め、具体的な人物の姿を通じて自己の将来の在り方・生き方について考えられるようにしました（第1号・第2号）。 <p>→195 ページ</p>	 <p>47, 65, 97, 108, 129, 132, 151, 185, 195, 212 ページ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本文での学習内容を深化させた「深めよう」を設け、本文の内容を基礎にして、学習をさらに掘り下げられるようにしました（第1号・第2号）。 	<p>22-23, 112-113, 182-183 ページ など全体で 8 教材</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 第1章3節で学習する「対立と合意」「効率と公正」の見方や考え方について、これらを活用して考える活動を第2章以降にも掲載し、マークを付すことで、話し合い等を通じて価値判断を行えるようにしました（第1号・第2号）。 <p>→85 ページ</p>	 <p>59, 68-69, 85, 107, 147, 153, 179, 202-203 ページなど全体で 17 か所</p>
 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の中で残されてきた文化遺産を豊富に取り上げ、国宝や重要文化財、世界遺産にはマークを付すことで、我が国の伝統と文化に目を向け、尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。 <p>→192 ページ</p>	 <p>全体</p>

単元ごとの内容		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	<ul style="list-style-type: none"> 環境、人権、平和、伝統文化、防災などに関する課題と、それらの解決に取り組む中学生・高校生の姿を取り上げ、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識し、主体的に社会に参画する態度を養えるようにしました（第3号・第4号・第5号）。 日本各地の無形文化遺産を取り上げ、日本の伝統と文化に対する理解を深められるようにしました（第5号）。 	<p>前見返し 後見返し</p> <p>後見返し</p>
第1章 現代社会と 私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 情報リテラシーや情報モラルについて、具体的な事例を通して身に付けられるようにしました（第1号、第2号）。 持続可能な社会の形成について取り上げ、環境、人権、平和、伝統文化などに関する課題の解決が必要であることや、そのためには一人一人の社会参画が重要であることを意識できるようにしました（第3号・第4号・第5号）。 現代社会における文化の意義や影響について理解し、異なる文化を理解し尊重し合う態度の重要性を理解できるようにしました（第5号）。 我が国の伝統や文化に関する教材や、伝統文化の継承に取り組む中学生の姿を取り上げることで、我が国や郷土に対する誇りと愛情、伝統文化の継承者としての自覚と態度を養えるようにしました（第3号・第5号）。 	<p>11 ページ</p> <p>14-15 ページ</p> <p>16-21 ページ</p> <p>18-19, 22-23 ページ</p>
第2章 個人の尊重と 日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の意義と日本国憲法の構成を大きくとらえさせ、主権者である国民が、互いの権利を尊重し、義務を果たしながら、平和で民主的な国家・社会の形成に参画していることを理解できるようにしました（第1号・第3号）。 日本国憲法の保障する基本的人権について丁寧に説明し、男女の平等や高齢者、障がい者、外国人との共生について考えさせるなど、自他を敬愛し、人権を尊重する態度を養えるようにしました（第2号・第3号）。 産業の発展とともに環境権が主張されるようになったことについて、具体的な事例を通じて理解できるようにしました（第4号）。 	<p>38-41, 58-59 ページなど</p> <p>44-57 ページなど</p> <p>60 ページ</p>
第3章 現代の民主政治と 社会	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義の意義や選挙、裁判員制度の仕組み、メディアリテラシーなど、将来、主権者として政治に関わっていくための基礎的な教養や能力を、多様な活動を通じて確実に身に付けられるようにしました（第1号・第2号・第3号）。 身近な地域の課題の解決について調べる活動や、東日本大震災からの復興への取り組みについて考えることなどを通じて、郷土に対する理解を深め、地域づくりに積極的に参画する態度を養えるようにしました（第3号・第5号）。 	<p>72-83, 96-99, 114-115 ページなど</p> <p>110-113 ページなど</p>
第4章 私たちの暮らしと 経済	<ul style="list-style-type: none"> 消費者問題や消費者の権利について、詳細な説明や具体的な事例、活動等を通じて、必要な知識や能力を身に付けられるようにしました。（第1号・第3号）。 労働や雇用について、具体的な事例を掲載することで、職業や労働への理解を深め、自らの在り方・生き方について考えられるようにしました（第2号）。 市場経済や為替相場などの抽象的な事項は、本文で丁寧に説明し、「公民にチャレンジ」の作業を通じて確実に理解できるようにしました（第1号）。 公害問題について、公害防止の取り組みや、環境を保全するための国や地方公共団体の取り組みを取り上げ、個人・企業などがなすべきことについて考えられるようにしました（第4号）。 	<p>122-125 ページ</p> <p>132-135 ページ</p> <p>136-137, 156-157 ページ</p> <p>154-155, 160-161 ページなど</p>
第5章 地球社会と 私たち	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境やエネルギーの問題を取り上げ、解決のための国際協力や我が国の政策の在り方について考えられるようにしました（第1号・第2号・第4号）。 貧困や紛争、我が国の領土をめぐる問題など、国際平和の実現のために解決すべき課題について詳しく説明し、平和な国際社会を築くために我が国や一人一人が果たすべき役割について考えられるようにしました（第3号・第5号）。 国際社会における文化の多様性と宗教間の対立について具体的な事例を取り上げ、異なる文化を理解し尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。 	<p>178-183 ページ</p> <p>184-191, 194-201 ページなど</p> <p>190-193 ページ</p>

終章
より良い社会を
目指して

・探究に必要な技能を身に付ける「調査の達人」を設け、学習を主体的に進められるようにしました（第1号・第2号）。

・「探究を社会参画につなげる」を掲載し、探究の成果を社会参画や自己の将来の在り方・生き方と結び付けて考えられるようにしました（第2号・第3号）。

・持続可能な社会の形成について、これまでの学習の成果を生かして、環境、人権、平和、伝統文化などの多様な側面から追究し、そのために一人一人ができることについて考えられるようにしました（第3号・第4号・第5号）。

208-209 ページ
212 ページ
206-211 ページ

このページは、教科書の複数のページをまとめたものです。左側には「持続可能な社会に向けて」という見出しがあり、右側には「東日本大震災」という見出しがあります。写真や図表が豊富に掲載されています。

↑第1章14-15ページ（第3号・第4号・第5号）

このページは、教科書の複数のページをまとめたものです。左側には「だれを市場に選ぶべき？」という見出しがあり、右側には「円高・円安の影響」に関する図表やグラフが掲載されています。

↑第3章72-73ページ（第1号・第2号・第3号）

このページは、教科書の複数のページをまとめたものです。左側には「日本のエネルギー政策のこれから」という見出しがあり、右側には「調査の達人」に関するイラストや図表が掲載されています。

↑第5章182-183ページ（第1号・第2号・第4号）

このページは「日本の無形文化遺産」に関する内容です。表形式で文化遺産の種類、地域、年次などが記載されています。また、説明文や写真も含まれています。

←後見返し（第5号）

公民 チャレンジ 1 バリアフリーについて考えよう

バリアフリーとは、障がいのある人や高齢者などが、社会の中で安全・快適に暮らせるよう、身体的、精神的、社会的な障壁（バリア）を取り除くという考えです。

- 右のイラストで、バリアフリーになっているところはどこか、読み取りましょう。
- バリアフリーを実現するために私たちが気をつけるべきことはないか、右のイラストを参考にグループで話し合ってみよう。
- 校内中学校周辺で、バリアフリーにすべきところを探し、校内案内図や地図などに記入しよう。

↓第2章49ページ（第2号・第3号）

公民 チャレンジ 17 円高・円安の影響について考えよう

円高・円安が私たちの生活や日本経済にあたる影響について考えよう。

①図1は、円高・円安になったときに、海外旅行者が受ける影響をまとめたものです。図の空欄に当てはまる数字を考えよう。

②図2は、①と同様の円高・円安になったときに、輸出・輸入企業を受ける影響をまとめたものです。図の空欄に当てはまる数字を考えよう。

図1

円高	円安
1ドル=90円 ← 1ドル=100円 → 1ドル=110円	1ドル=90円 ← 1ドル=100円 → 1ドル=110円
10万円を持って日本からアメリカへ旅行をする	日本からアメリカへ100万円の自動車を購入する
ドル ← 1000ドル → ドル	ドル ← 1万円 → ドル
1000ドルを持ってアメリカから日本へ旅行をする	アメリカから日本へ1万円の自動車を購入する
円 ← 10万円 → 円	円 ← 100万円 → 円

図2

円高	円安
1ドル=90円 ← 1ドル=100円 → 1ドル=110円	1ドル=90円 ← 1ドル=100円 → 1ドル=110円
日本からアメリカへ100万円の自動車を購入する	アメリカから日本へ1万円の自動車を購入する
ドル ← 1万円 → ドル	ドル ← 1万円 → ドル
円 ← 100万円 → 円	円 ← 100万円 → 円

↑第4章157ページ（第1号）

調査の達人 3 話し合いで考察を深める方法

●ディベート 同じ内容を探究している友人がいたら、ディベートで友えを深めよう。(→p.68)

●議論 考察の途中経過をグループの中で意見交換し、レポートの内容を検討しよう。

●プレゼンテーション 考察の途中経過を簡単にまとめて発表し、友達と助言し合おう。

↑終章209ページ（第1号・第2号）

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- **特別支援教育への対応** 地図やグラフではカラーバリアフリーに配慮するとともに、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用するなど、色覚特性がある生徒や、小さな文字が読みにくい生徒などさまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮しました。
- **授業のしやすさへの配慮** 資料には見開きごとのまとまりで通し番号を付け、対応する本文の上に対応する本文の図番号を付すなど、先生方が授業で指示しやすいように配慮しました。
- **環境への配慮** 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-92	中学校	社会	社会 (公民的分野)	第 3 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	公民 929	新編 新しい社会 公民		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 内容の程度・分量

①見開き 1 単位時間の構成で, 柔軟な指導計画の作成が可能

- 本文は見開き 2 ページで 1 単位時間を原則にしています。
- 目次・索引, 巻末資料などを除いたページ数は 208 ページで, 標準授業時数 100 単位時間のうち, 5 単位時間の予備時間を設け, 柔軟な指導計画の作成が可能です。

②バランスの良い配当時数

- 授業時数は, 公民学習の導入に 1 単位時間, 第 1 章に 13 単位時間, 第 2 章に 16 単位時間, 第 3 章に 22 単位時間, 第 4 章に 22 単位時間, 第 5 章に 16 単位時間, 終章に 5 単位時間を配当しており, 適切な配当といえます (5 ページの「対照表」参照)。

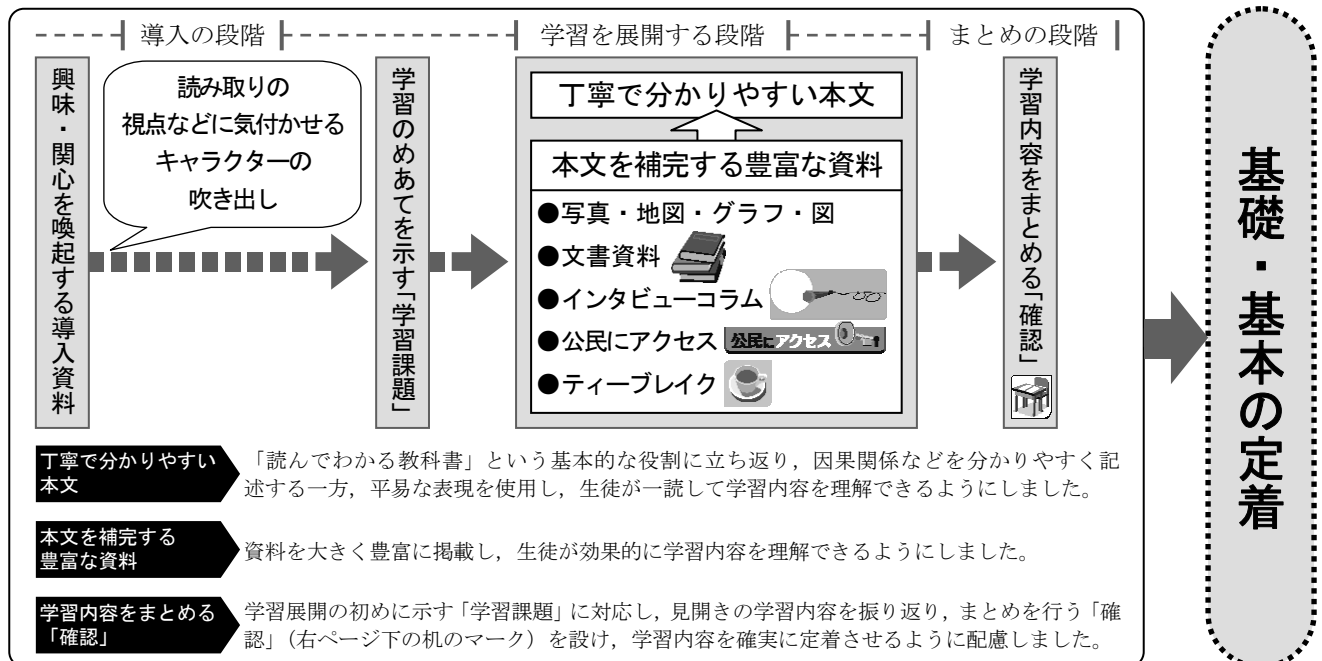
③学習指導要領の内容に沿った構成と理解しやすい本文記述

- 内容の程度・範囲は, 学習指導要領に示された内容を基に構成し, 文章も敬体 (ですます体) を用い, 因果関係を明確に記述する一方, 中学生の発達段階を考慮した, 平易な表現を使用しています。

② 学習指導要領・今日的な諸課題への対応の程度・分量

①公民的分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

- 見開き 1 単位時間の紙面を, 「興味・関心を喚起する導入資料→学習のめあてを示す『学習課題』→丁寧に分かりやすい本文→学習内容をまとめる『確認』(右ページ下の机マーク)」の流れで構造化し, 学習内容が確実に定着するように工夫しました。



- 1 章から 5 章の最後には, 学習した知識・概念を確認する「この章の学習を確認しよう」を設け, 定着の確認と振り返りができるようにしました。 ▶32, 70, 116, 166, 204 ページ
- 抽象的だったり, 難しかったりする用語については, 24 年度教科書より充実させた用語解説で説明し, 確実に理解できるようにしました。 ▶241-245 ページ

②日常的・段階的な言語活動で、思考力・判断力・表現力を育む

●各見開きには、説明・要約などの短時間でできる言語活動によって、学習内容をまとめる「確認」(机マーク)を設けました。

キーワードを使って説明する	共通点や相違点に着目して説明する	空欄に語句を補充して説明する
<p>立憲主義とはどのような考えか、次の語句を使って説明しましょう。 【国の政治権力／国民の人権／憲法】</p>	<p>民事裁判と刑事裁判のちがいについて、次の点に着目して説明しましょう。 ①裁判の対象となる事件 ②訴えを起こす人 ③裁判の結果</p>	<p>精神の自由を保障することはどうして重要か、次の文の空欄に語句を入れて説明しましょう。「もし精神の自由が保障されなかったら、<input type="text"/>だから。」</p>
<p>日本銀行は不景気のときにどのような金融政策を採るか、次の語句を使って説明しましょう。【銀行／国債／金利】</p>	<p>二元代表制とはどのような仕組みか、図の⑧と89ページの⑦の図を参考にし、国の議院内閣制と比較しながら説明しましょう。</p>	<p>三分割が採られているのはどうしてか、次の文の空欄に語句を当てはめて説明しましょう。「もし<input type="text"/>に権力が集中していたら、<input type="text"/>。」</p>
↑39 ページ (上) と 145 ページ	↑95 ページ (上) と 105 ページ	↑53 ページ (上) と 101 ページ

●学習のポイントになる部分では、小集団による話し合い活動などの「公民にチャレンジ」を設けました。

→59, 63, 77, 83, 137, 153, 157, 179 ページなど →137 ページ

●1章から5章の初めに導入のページ、2章から5章の終わりに学習のまとめのページを設け、「ディスカッション」「ディベート」「プレゼンテーション」といった多様な言語活動を掲載しました。また、導入の言語活動とまとめの言語活動に連続性を持たせ、導入での活動を生かして単元のまとめができるようにしました。

→第1章：6-7 ページ／第2章：34-35, 68-69 ページ／第3章：72-73, 114-115 ページ／第4章：118-119, 164-165 ページ／第5章：168-169, 202-203 ページ

公民にチャレンジ 15 需要量・供給量・価格の関係について考えよう

ある地域で、キャベツの価格と買いたい量、売りたい量の関係についてアンケート調査を行ったところ、表1、2のような結果が出ました。

①買いたい量についてのアンケート結果は、表1のようになりました。表1の数値を、グラフ1に折れ線グラフで表しましょう。また、「買手の気持ち」を表したふきだしのかっこに当てはまる語句を選びましょう。

②売りたい量についてのアンケート結果は、表2のようになりました。表2の数値を、グラフ2に折れ線グラフで表しましょう。また、「売手の気持ち」を表したふきだしのかっこに当てはまる語句を選びましょう。

【表1】

キャベツ1個の価格	100円	200円	300円	400円
買いたい量(地域の合計)	40個	25個	15個	10個

【表2】

キャベツ1個の価格	100円	200円	300円	400円
売りたい量(地域の合計)	10個	25個	35個	40個

価格が(高い・低い)とたくさん買いたいけれど、(高い・低い)とあまり買いたくない

価格が(高い・低い)とたくさん売りたいけれど、(高い・低い)とあまり売りたいくない

③グラフ1とグラフ2を、グラフ3に書き写して重ね合わせ、二つのグラフが重なる点の価格はいくらか読み取ります。

【グラフ1】

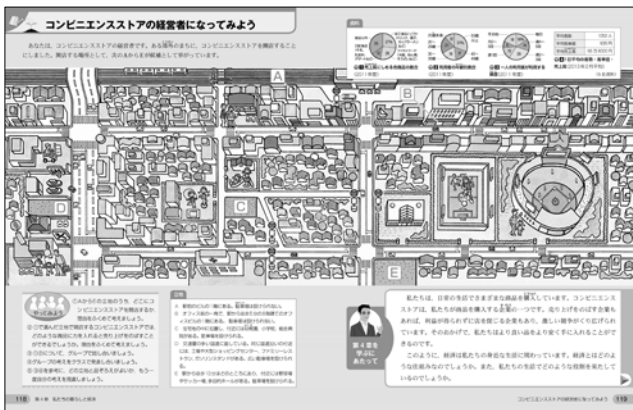
価格(円)	500	400	300	200	100	0
買いたい量						

【グラフ2】

価格(円)	500	400	300	200	100	0
売りたい量						

【グラフ3】

価格(円)	500	400	300	200	100	0
買いたい量						
売りたい量						



↑第4章導入 (118-119 ページ)

コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう

お弁当の企画は、売りたい量と買いたい量の関係を知ることが大切です。ここでは、コンビニエンスストアのお弁当の企画をテーマに、需要量・供給量・価格の関係について考えよう。

1. 売りたい量と買いたい量の関係について考えよう

2. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

3. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

4. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

5. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

6. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

7. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

8. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

9. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

10. 価格と売りたい量・買いたい量の関係について考えよう

↑第4章まとめ (164-165 ページ)

●社会科学習のまとめの言語活動である終章「より良い社会を目指して」では、レポート作成や中間発表などの言語活動を取り上げるとともに、作品例を掲載するなど、基礎的な技能を身に付けられるようにしました。→206-211 ページ

③公共の精神に基づき、より良い社会の形成に主体的に参画する態度を養う

●1章1節に「持続可能な社会に向けて」を設け、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしました。→14-15 ページ

●3章3節に「私たちの政治参加」を掲載し、社会参画のプロセスを明示しました。→110-111 ページ

●終章に「探究を社会参画につなげる」を設け、探究活動を社会参画や自らの在り方・生き方を考えることへとつなげられるようにしました。→212 ページ

●インタビューコラムを掲載し、実際に社会参画をしている人々の姿から、自らの在り方・生き方について考えられるようにしました。

→47, 65, 97, 108, 129, 132, 151, 185, 195, 212 ページ

持続可能な社会に向けて

社会課題の解決と持続可能な社会の実現

解決のための取り組み(社会参画)

持続可能な社会の実現

持続可能な社会とは、資源を大切に使い、環境を壊さず、世代を超えて豊かに暮らすことです。持続可能な社会を実現するために、一人一人が社会参画をすることが大切です。

持続可能な社会の実現に向けて、私たちは、環境、社会、経済の3つの柱を大切に考え、持続可能な社会を実現するために、一人一人が社会参画をすることが大切です。

持続可能な社会の実現に向けて、私たちは、環境、社会、経済の3つの柱を大切に考え、持続可能な社会を実現するために、一人一人が社会参画をすることが大切です。

→14 ページ

おいしさと健康を届ける

パティシエの林沢安耶さん

大学生のときにフランスの食文化に興味を持ったことが、パティシエになるきっかけでした。私は子どものころ体が弱かったため、おいしいだけでなく食べて健康になれるものを作りたいと思い、世界初の野菜スイーツの専門店を始めました。野菜スイーツはそれまでほとんどなかったので、商品開発は試行錯誤の連続でした。野菜の消費のばねを広げるとともに、スイーツにすることで農産物に付加価値をあたえ、日本の農業の活性化にもつなげたいと思っています。野菜の魅力を広めるために、各地の伝統野菜を使った特産品スイーツのプロデュースや、学校での食育セミナーにも取り組んでいます。お客さんや農家の人たちに喜んでもらえることが、私の一番の喜びです。

④お店で働く林沢さん

⑤林沢さんの作る野菜を使ったスイーツ

↑132 ページ

④我が国の伝統と文化の特色を
広い視野に立って考え、
国土や歴史に対する
理解と愛情を深める

- 日本の特色ある文化や伝統に関する教材や、伝統文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を取り上げ、日本や郷土に対する愛情を深め、我が国の伝統や文化の継承者としての自覚と態度を養えるようにしました。

▶16-23 ページ、後見返しなど

→22-23 ページ



- 教科書中に写真を掲載している国宝・重要文化財、世界遺産の写真にはマーク(宝 重 世)を付し、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解を深められるようにしました。

- 我が国が抱える領土をめぐる問題の現状について、「公民にアクセス」などで取り上げ、我が国の領土について正しく理解し、解決に向けての意識を高められるようにしました。

▶171, 195-197 ページなど

→196-197 ページ



⑤環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など、今日的な課題の解決のための意識と態度を育てる

- **環境・エネルギー** 日本の公害問題と地球環境問題、日本と世界のエネルギー事情について、多彩な資料を取り上げることで、環境やエネルギーの問題への関心を高め、その解決や身近な生活でできることについて、話し合い等を通じて考えられるようにしました。▶14-15, 60, 154-155, 160-161, 178-183 ページなど
- **防災・安全** 東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの問題について、多彩な資料や具体的な事例を取り上げることで、社会参画や地方自治、「自助・共助・公助」、「減災」、人権など多様な観点から考えられるようにしました。▶14-15, 65, 112-113, 182 ページなど
- **人権** 2章の導入とまとめに「ちがいのちがいが」を掲載したり、生徒の作文や同年代の子どもの姿を取り上げたりすることで、人権を自らの日常生活に引きつけて理解できるようにしました。▶14, 34-35, 44-69 ページなど
- **平和** 平和をめぐる問題について、5章の導入とまとめに「バター戦争」と「アニマル大陸の危機を救おう」を掲載するなど、具体的な事例や活動を通じて考えられるようにし、現在の日本を取り巻く国際情勢を踏まえた記述にすることで、生徒が主体的に考えられるようにしました。▶14, 42-43, 168-169, 188-203 ページなど

⑥より良い社会生活を営むために必要な能力を育てる

- **情報** 情報リテラシーや情報モラル、メディアリテラシーについて、具体的な活動を通して身に付けられるようにしました。▶11, 62-63, 82-83 ページなど
- **法** 決まりや法、憲法の意義や司法制度の仕組み、契約の意義などについて、模擬裁判などの活動を交えて取り上げることで、法の果たす役割について具体的に理解できるように工夫しました。▶28-31, 38-41, 92-99, 122-123 ページなど
- **主権者** 憲法改正や選挙の仕組みなどについての記述を充実させるとともに、3章の導入とまとめや「公民にチャレンジ」などの活動を通して主権者意識を高められるようにしました。▶40-41, 56-57, 72-83, 108-111, 114-115 ページなど
- **消費者** 消費者問題や消費者の権利に関する記述を充実させ、本文や図表、「公民にチャレンジ」の活動などを通して、自立した消費者として必要な知識や能力を身に付けられるようにしました。▶122-125 ページなど

⑦国旗や国歌を尊重する態度を育てる

- 5章1節の「国際社会における国家」で「国旗と国歌」について記述し、国旗・国歌を尊重する重要性を理解できるようにしました。▶171 ページ

3 構成・配列

①基礎・基本の定着を確実にする単元の構造化

●各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる導入部→学習を進める展開部→章の学習をまとめる終結部」という流れで構造化し、基礎的・基本的な知識や概念を確実に習得できるようにしました。また、導入部と終結部の教材に関連性を持たせることで、章の学習の流れを明確化し、章の学習の成果を終結部で活用しやすくしました。

▶(第2章の例) 導入部: 33-35 ページ→展開部: 36-67 ページ→終結部: 68-70 ページ

●1章1節に「持続可能な社会に向けて」を掲載し、終章での探究テーマである「持続可能な社会の形成」を公民学習の冒頭で意識させ、終章でも振り返らせることで、各章の学習を終章の探究へと確実に結び付けられるようにしました。

▶14-15, 205-212 ページ

●1章3節で学習する「対立と合意」「効率と公正」の見方や考え方について、第2章以降の学習でも活用し、理解を深められるよう、「公民にチャレンジ」や章のまとめのページなどに「対立と合意」「効率と公正」を踏まえて考える問いを適宜掲載し、マークを付しました。

▶59, 85, 107, 131, 147, 153, 179 ページなど

●2章から4章は「人権・憲法→政治→経済」の順にすることで、公民学習の基盤である「人権・憲法」を初めに学習し、経済については、政治の仕組みや政策との関連から、学習を深められるようにしました。

●第3章は「国の政治→地方の政治」の順にすることで、生徒がテレビや新聞等を通じて触れることの多い「国の政治」についての学習を先に行い、民主政治の理念と仕組みについておさえたい「地方の政治」の学習を展開できるようにしました。

159 ページ

②小学校社会科や地理的分野・歴史的分野の学習との円滑な接続に配慮した構成

●冒頭の「公民の学習の初めに」では、地理・歴史教科書の資料を掲載し、両分野の学習内容と公民的分野とのつながりを示すことで、地理・歴史と公民との円滑な接続を図れるように配慮しました。▶前見返し、1 ページ

●1章から5章の導入で、小学校社会科教科書や、地理・歴史教科書の学習内容を振り返ることで、各章の学習と小学校社会科や地理・歴史との接続を図れるようにしました。▶5, 33, 71, 117, 167 ページ

71 ページ

③分野の学習の関連を図った教材構成

●環境・エネルギー、伝統文化・宗教、防災・安全、人権・平和といった「持続可能な社会の形成」に関連する課題のうち、地理的分野や歴史的分野の学習を踏まえることが効果的な課題については、「アクセス」や「深めよう」などのコーナーで3分野共通で扱い、他分野との関連を示す分野関連マークを付すことで、3分野の学習を通じて社会科としての学習の目標を達成できるようにしました。

▶アクセス・チャレンジ: 43, 65, 110-111, 129, 196-197, 199 ページ
深めよう: 66-67, 112-113, 160-161, 182-183, 190-191 ページ

112-113 ページ

④学習効果を高める写真や図表の工夫

●漫画やイラストなどを掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。

▶24-31, 168-169, 202-203 ページなど

4 印刷・造本

①生徒が使いやすい造本面の工夫

- 視覚的効果が高い幅広の判型(A B判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫しています。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。
- 針金綴じを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。

②特別支援に関わる適切な配慮

- 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフでは線種でも見分けがつかないようにしています。
- 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用しています。

③用紙等の環境への配慮

- 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。
- 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
公民学習の初めに	(1)-ア	前見返し-1 ページ	1
第1章 現代社会と私たちの生活		5-32 ページ	13
導入	(1)-ア, イ	5-7 ページ	1
1 節 現代社会の特色と私たち	(1)-ア	8-15 ページ	4
2 節 私たちの生活と文化	(1)-イ	16-23 ページ	3
3 節 現代社会の見方や考え方	(1)-ア, イ	24-31 ページ	4
まとめ		32 ページ	1
第2章 個人の尊重と日本国憲法		33-70 ページ	16
導入	(3)-ア	33-35 ページ	1
1 節 人権と日本国憲法	(3)-ア	36-43 ページ	4
2 節 人権と共生社会	(3)-ア	44-59 ページ	7
3 節 これからの人権保障	(3)-ア	60-67 ページ	3
まとめ	(3)-ア	68-70 ページ	1
第3章 現代の民主政治と社会		71-116 ページ	22
導入	(3)-イ	71-73 ページ	1
1 節 現代の民主政治	(3)-イ	74-83 ページ	5
2 節 国の政治の仕組み	(3)-イ	84-101 ページ	10
3 節 地方自治と私たち	(3)-イ	102-113 ページ	5
まとめ	(3)-イ	114-116 ページ	1
第4章 私たちの暮らしと経済		117-166 ページ	22
導入	(2)-ア, イ	117-119 ページ	1
1 節 消費生活と経済	(2)-ア, イ	120-127 ページ	4
2 節 生産と労働	(2)-ア	128-135 ページ	4
3 節 価格の働きと金融	(2)-ア	136-145 ページ	5
4 節 政府の役割と国民の福祉	(2)-イ	146-153 ページ	4
5 節 これからの経済と社会	(2)-ア, イ	154-163 ページ	3
まとめ	(2)-ア, イ	164-166 ページ	1
第5章 地球社会と私たち		167-204 ページ	16
導入	(4)-ア	167-169 ページ	1
1 節 国際社会の仕組み	(4)-ア	170-177 ページ	4
2 節 さまざまな国際問題	(4)-ア	178-191 ページ	5
3 節 これからの地球社会と日本	(4)-ア	192-201 ページ	5
まとめ	(4)-ア	202-204 ページ	1
終章 より良い社会を目指して	(4)-イ	205-212 ページ	5
		予備時間	5
		合計	100

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などにあてる時間です。